

授業科目 看護実践論

【担当教員名】 塚本 康子、看護学科教員全員、牧口 智夫、 高橋 良光 他		対象学年	4	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 これまでで修得した看護学の知識・技術を統合し、安全で確実な看護を実践する能力を養う。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1・状況をアセスメントして必要な看護を行う上での方法・注意点が挙げられる。 2・自己の看護学の習得状況を踏まえ、安全で確実な看護技術を実践ができる。 3・これまでの看護学の修得状況を振り返り、自己の看護実践における課題を考察する。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	ガイダンス・領域別課題提示	1, 3	講義、担当：塚本 康子 他		
2	医用器機管理	1, 2, 3	講義・演習、担当：牧口 智夫 他		
3	医用器機管理	1, 2, 3	講義・演習、担当：牧口 智夫 他		
4	看護技術実践	1, 2, 3,	講義・演習、担当：塚本 康子 他		
5	看護技術実践	1, 2, 3	講義・演習、担当：塚本 康子 他		
6	看護技術実践	1, 2, 3	講義・演習、担当：塚本 康子 他		
7	看護技術実践	1, 2, 3	講義・演習、担当：塚本 康子 他		
8	まとめ	3	講義、担当：塚本 康子 他		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		適宜配布		参考書等は、後日提示する。	
【評価方法】 態度・成果物 100%		【履修上の留意点】 4年間を通して学んだ看護を統合して安全・確実に実践できるよう、各自が真摯に取り組んで欲しい。 各看護学領域から提示される課題のうち、希望する課題（自己の探究心・補習や強化したい事柄）を選択して、取り組む。			